

中小企業信用保険法第2条第5項第2号口の規定による認定申請書【① - (口)】

(申請先)  
横浜市長

令和 年 月 日

(申請者)  
住所  
名称  
代表者

私は、 \_\_\_\_\_ が、令和 年 月 日から \_\_\_\_\_ を行っていることにより、次のとおり同事業者との間接的な取引の連鎖関係について売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第2号口の規定に基づき認定されるようお願いします。

1 \_\_\_\_\_ に対する取引依存度  
 $(A \div B) \times 100$  \_\_\_\_\_ %

A: 令和 年 月から令和 年 月までの

\_\_\_\_\_ に関連する取引額

A: \_\_\_\_\_ 千円

B: 上記期間中の全取引額

B: \_\_\_\_\_ 千円

2 売上高等

(1) 最近1か月間の売上高

$(D - C) \div D \times 100$

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績)

C: 事業活動の制限を受けた後最近1か月間の売上高

C: \_\_\_\_\_ 千円

D: Cの期間に対応する前年1か月間の売上高

D: \_\_\_\_\_ 千円

(2) (1)の期間も含めた今後3か月間の売上高の実績見込み

$\{ (D + F) - (C + E) \} \div (D + F) \times 100$

減少率 \_\_\_\_\_ % (実績見込み)

E: Cの期間後2か月間の見込み売上高

E: \_\_\_\_\_ 千円

F: Eの期間に対応する前年の2か月間の売上高

F: \_\_\_\_\_ 千円

経金第 \_\_\_\_\_ 号  
令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

横浜市長 山中 竹春

(留意事項)

- ③ 認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ④ 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。